

## 年度末報告書（資金分配団体）

- 提出日 : 2023年 4月 30日
- 事業名 : 希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト
- 資金分配団体 : 公益財団法人原田積善会

### ① 実績値 報告期間 9月～3月末

#### 【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が、設立計画を具体的に立案する	事業計画、資金計画（または進捗状況）	最終目標はホスピス設置だが事業フェーズによってはそれ以前の目標となる	事業期間終了時	各団体が事業計画・資金計画を策定し実践する中で、実情に即した見直しを検討している。（例：北海道は10月に仮の拠点「くまさんのおうち」をオープンし、利用者受け入れを開始。福岡は、次年度認定NPO法格取得に向け準備を進めながら、建設に向けた大口資金調達にアプローチを変えていく予定。東京は土地に関しては複数件申し出があるが、建設費の資金調達が大きな課題となっており、地元議員や企業などとの関わりを増やししながら支援者層や信頼度の向上に努めている（スポーツチームとのコラボ企画など）	2
1-2) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が人材（就労者、ボランティア、協力企業など）を確保する	個人、企業からの協力（人的・資金的）	事業開始時よりも増えている	事業期間終了時	休眠預金事業を展開することで、メディア、個人・企業などに活動の具体例を示しアピールすることが出来るようになり、地元銀行や企業も含め関心が高まっている（協力・支援の可能性のヒヤリング機会、ボランティアに関する問合せな	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
				ど)。活動が活発化するにつれ、福岡は事務局人材を1名雇用し、北海道も人員強化を検討（心理士1名および事務ボランティア2名を研修会参加者から選択）。コロナの落ち着きと共に、各団体ともイベントに企業や家族支援団体などによる協力が増加している。（企業によるマナー研修、地元団体協力によるチャリティイベント、スポーツ団体による家族招待、など）	
1-3) 資金分配団体の資金的支援を通して新規開設したい実行団体が必要な資金源を確保する	資金源の数、額	事業開始時よりも増えている	事業期間終了時	資金的支援により連携医療施設や支援団体への配布資料（パンフレット）提供をし、潜在的支援者の確保に努めている。また、活動がメディアに取り上げられることで支援者数、会費・寄付金額、SNS フォロワーなども増加している。	2
2-1) 資金分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが人材（就労者、ボランティア、協力企業など）を確保する	個人、企業からの協力（人的・資金的）	事業開始時よりも増えている	事業期間終了時	横浜では、地域に開かれた施設となるべく、地域連携・交流を積極的に展開（見学会、地域イベントなど）。こうしたイベントを通してボランティア登録者（裁縫、ハウスキーピング、ガーデン、翻訳、イベント、広報など）を増やすと共に、ボランティアの活用機会も増やしている。また、見学やイベントを通して、協力企業も数、支援形態（人的、物的、資金的、その他イベント企画など）も多様化し増えている。奈良では、地元の大学生ボランティアが参加してイベントを実施。	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
2-2) 分配団体の資金的支援を通して設置済みこどもホスピスが必要な資金源を確保する	資金源の数、額	事業開始時よりも増えている	事業期間終了時	事業開始時よりも、個人・団体の会員数、寄付金額が増加している。	2
3) 資金分配団体の資金的支援を通して実行団体が難病児支援を行っている関連団体と情報共有をし、支援の幅を広げられるような連携強化の基盤を作る（支援団体や活動内容の情報集約やネットワーク形成）	①資源・ステークホルダーに係るエコマップ等の内容 連携の事例	事業開始時よりも増えている	事業期間終了時	ネットワーク形成に向けた計画的な活動（エコマップの作成など）が実施されてはいないが、広報啓発イベントで他の支援団体との共催、コラボ企画などは積極的に行われている。 （例：北海道キャンプ=NPO 法人かのか、きょうだい児支援=NPO 法人しぶたね。 福岡チャリティイベント=がんのこどもを守る会共催。 横浜地域交流=NPO 法人あっちこっち、その他企業連携多数。 奈良レスパイトタウンイベント=任意団体きたまちコンサートと有志との共同企画など）	2

#### 【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-1) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの意義や役割の理解促進につながるシンポジウムなどの開催	シンポジウムなどの開催回数、参加者数	増加している	事業期間終了時	予定していたシンポジウムは開催していないが、実行団体を含む14団体からなる「全国こどもホスピス支援協議会」の設立と勉強会（ワークショップ）を実施した（2023年1月30日、参加者25人）	4

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
	②開催後の意識調査	②意識調査で理解や関心の向上が認められる	事業期間終了時	予定していたシンポジウムは開催していない。全国こどもホスピス支援協議会には、今後も継続的に勉強会やワークショップを開催して欲しい、と期待が寄せられた。	4
	③こどもホスピス設立に関心を示す個人・団体数	③こどもホスピス設立などに関する問い合わせや意識が高まっている	事業期間終了時	全国こどもホスピス支援協議会には、実行団体5団体や、こどもホスピスを運営している「TSURUMI こどもホスピス」「もみじの家」「淀川キリスト教病院こどもホスピス」のほか、設立を目指す団体として長野、福井、千葉、愛知、沖縄が加わっている（今後は宮城も参加予定）。	3
1-2) 資金分配団体が主体となり、こどもホスピス・小児緩和ケアの研修機会の提供	勉強会などの開催回数、参加者数、参加者層	増加している	事業期間終了時	2023年1月14日、15日に、実行団体（北海道こどもホスピスプロジェクト）と共催でこどもホスピス・小児緩和ケアセミナーを旭川市でハイブリッド開催（参加者71名）。札幌市ではなく旭川市であったにも関わらず、会場参加も多数あり、オンラインは全国からの申し込みがあった。（神奈川、千葉、北海道、埼玉、静岡、福岡、愛知、沖縄など）	2
	意識調査	意欲向上、満足度が確認できる	事業期間終了時	参加したことによるこどもホスピスの意義やトータルケアについての理解・関心の向上が認められた。（100%）	2
	テキストなどの教材の作成、配布（数、利用状況）	配布数や配布先が広がり、満足度が確認できる	事業期間終了時	今年度は実施していない。	4

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
1-3) 資金分配団体が主体となり、実行団体の実践力の基盤強化のための研修機会の提供	実行団体からのポジティブなフィードバック	研修の成果を事業に生かしたという肯定的な感想が聞かれる。	事業期間終了時	秋に中間評価に関する研修と個別説明会を実施。実行団体は適切な運用が出来ており、FDO・実行団体間で不明点などは迅速に確認し合える関係ができています。	2
2-1) 資金分配団体が主体となり、設立準備活動の効率化を目指し、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体間で情報共有ネットワークを形成	①定期勉強会などの開催数、参加者数	①開催数が増加する	事業期間終了時	実行団体協議会を開催 10月17日(ファクトシートの修正)	2
	②相互研修や視察の機会(数、種類、参加者数)	②研修や視察の機会が増加する	事業期間終了時	協議会などで情報共有も高まり、横浜こどもホスピスを実行団体(札幌市、旭川市)が視察。実行団体以外にも信州、千葉、沖縄、愛知、宮城のこどもホスピス団体の視察もあり。	2
	ネットワークでの情報共有の満足度	③実行団体に対する連携に関する意識が高まっている	事業期間終了時	実行団体から開催頻度をあげる提案があり、ファクトシートの作成に取り組んできたが、会議の開催頻度は減少している。(この間、実行団体を含む「全国こどもホスピス支援協議会」が発足し、メールやオンライン会議でのコミュニケーションがスタート)	2
2-2) 資金分配団体が主体となり、各地のこどもホスピスおよび設立準備団体が協力して共通の声として広報・資金調達活動を行う基盤ができる	①共通課題やニーズの把握・共有(課題認識、調査)	①共通課題に応じて、連携して広報・資金調達などを行った実績が出来る。	事業期間終了時	実行団体が主体となり、こどもホスピスの現状をまとめるファクトシートの作成を進めている。(清水アドバイザーと奈良親子レスパイト、TSURUMI、横浜の視察と、もみじの家をオンラインヒヤリングを実施。次年度早々に淀川キリスト教病院を視察予定。6月頃完成予定。)	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
	②協力して行う 広報・資金調達 活動の内容	②共通課題に 応じて、連携して 広報・資金調達 などを行った 実績が 出来ている。	事業期間 終了時	こどもホスピスウィーク(4/28～5/5)では連携して広報キャンペーンを行っているが、全体としての資金調達は行っていない。 個別の例としては、横浜を支援している企業を北海道に紹介し、くまさんのおうちにも物資支援や資金支援が提供されるなどの連携はある。 資金分泌団体としては、全体としての資金調達の基盤づくりとして、全国規模の企業に全国の動きの説明に赴いている。	2
3) 資金分配団体が主体となり、住民、企業、医療・福祉関係者の理解促進につながるテーマで広報啓発活動(シンポジウム、勉強会、啓発活動など)実施	①勉強会やフォーラムへの参加者(個人、企業)の数・割合・多様性、	①増加し、多様化している。	事業期間 終了時	2023年1月14日、15日にこどもホスピス・小児緩和ケアセミナーを開催。 *参加人数：71名 *多様性(割合)：医療(28.2%)、学生(22.5%)、教育・保育(11.3%)、家族・遺族(8.5%)、福祉(8.5%)、支援団体(7%)、その他(8.5%)	2
	②メディア露出(記事や媒体)の数・内容	②露出の頻度や内容などが充実している。	事業期間 終了時	資金分配団体が窓口となり、こどもホスピスを応援する議員連盟の総会にこどもホスピス団体14団体が2回参加(2022年11月、2023年4月)。メディアにも取り上げられ、こどもホスピスへの関心増加に貢献したことを実感(その後の個別団体の取材などでもこども家庭庁やこどもホスピス全体としての質問が増えた)	2

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
	③理解や支援に対する関心度合・内容（アンケート）	③意識調査などで理解や関心の向上が確認できる。	事業期間終了時	2023年1月14日、15日のセミナーのアンケート結果から、セミナー前後で理解や関心の向上が確認できた。 *セミナー参加前と比較してこどもホスピスにおけるトータルケアの重要性の理解が深まったと感じた参加者：そう思う（86.7%）、ややそう思う（13.3%）	2
	④企業連携など支援形態の事例	④支援形態が多様化し、企業連携などの幅が広がっている。（参入しやすくなっている）	事業期間終了時	2022年サミットの参加企業1社から、こどもホスピス団体へのアーティスト協力（朗読と絵本提供）があった。 横浜では、協賛企業などから資金、物資、イベント協力など多様な協力が行われている。	2
4) 資金分配団体が主体となり、行政の関心とコミットメントを引き出すアドボカシー活動を展開	行政への政策提言に向けた情報の共有（国内外の研究、統計データなどの収集・提供）	資金分配団体による情報収集・共有により、行政への説得力が増したという肯定的な意見が得られる	事業期間終了時	2022年秋からこどもホスピスを応援する議員連盟、こども家庭庁準備室などとの協議が始まり、全国こどもホスピス支援協議会（14団体）から要望書を提出した。2023年4月からはこども家庭庁が発足し、こどもホスピス専門官が配置され、要望していた調査や関連法案への明記などが進展している。	2

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A: 変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
6.(任意)非資金的支援の活動に関する報告

## ③ 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2. 広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等） 2022年11月17日 共同通信⇒各地の地方紙 <a href="#">「こどもホスピス」支援の議員連盟発足 全国各地の取り組みを支援   株式会社共同通信社 (kyodo.co.jp)</a> 2023年5月2日 共同通信⇒各地の地方紙 <a href="#">こどもホスピス、国が実態調査へ 資金難、制度不備で設置遅れ (共同通信) - Yahoo!ニュース</a>
2.広報制作物等



3.報告書等

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

#### 添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3～4枚程度）

#### ④規程類の整備に関する報告

1. 規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→ 「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：事業期間中に掲載予定

2. 変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：変更なし

#### ⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。

はい いいえ

→ 「いいえ」を選択した場合の理由：

2. 内部通報制度は整備されていますか。

はい いいえ

→ 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：内部に窓口を設置 外部に窓口を設置 JANPIA の窓口を利用

3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：